

英語1A (English 1A)					担当教員
					教授 鈴木 栄樹 教授 野崎 亜紀子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	1年次 前期	講義	1.5単位	必修	

【概要】

「300語程度のモデル英文を読み、豊富な問題量をこなしながらライティング力の養成を図る」テキストを使用する。各Chapterに提示される文法事項の用法を確認し、且つ内容の精読、リスニング、ディクテーションに取り組むことで、さまざまなトピックを素材に、コロケーション（連語／語句間の慣用的な結びつき）の用法を知り、正確な文法事項をふまえてライティング・スキルを向上させていっていただきたい。

【授業の一般目標】

高校までの文法事項の整理・定着を図ることによって、基本的なライティング・スキルを習得し、日常的な英語表現をできるだけ幅広く身につけ、運用することができる。と同時に、科学英語や薬学英語の基礎ともなる英文法および英文構造の把握力を身につける。

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP3・DP4

【準備学習(予習・復習)】

予習復習を合わせて1週あたり150分程度の学修が必要である。予習としては、各ChapterのTextをノートに書き写すとともに、Exercisesを最初は自力で、次に辞書等を用いて解いてくること。授業はそうした予習をしているものとの前提で行う。その後、時間をあまりあけずに復習し、授業内容の定着を図ること。また、さまざまな英語表現を自分自身で、また友だち同士でも試みる際、付属の音声CDを用いること。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	Chapter 1 Fast Food: Nothing New under the Sun!	鈴木・野崎	文法事項としては、whyの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
2	Chapter 2 Famous Dogs	鈴木・野崎	文法事項としては、who, whomの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
3	Chapter 3 When Was it Invented?	鈴木・野崎	文法事項としては、whenの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
4	Chapter 4 Never Give Up: An Anti-Bullying Song	鈴木・野崎	文法事項としては、howの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
5	Chapter 5 The Migration of the Monarch Butterflies	鈴木・野崎	文法事項としては、whereの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
6	Chapter 6 New Foods from the New World	鈴木・野崎	文法事項としては、whatの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
7	Chapter 7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen	鈴木・野崎	文法事項としては、助動詞の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
8	Chapter 8 Isaac Lufkin: The Armless Football Player	鈴木・野崎	文法事項としては、動名詞と現在分詞の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
9	Chapter 9 Atlantis, the Lost Empire: Fact or Fiction?	鈴木・野崎	文法事項としては、現在完了形と現在完了進行形の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
10	Chapter 10 Pope Francis: A New Kind of Pope	鈴木・野崎	文法事項としては、接続詞の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
11	Chapter 11 The Power of Meditation	鈴木・野崎	文法事項としては、比較級の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
12	Chapter 12 Sedona: Harmony with Nature	鈴木・野崎	文法事項としては、仮定法現在のifの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
13	Chapter 13 Malala: Champion of Education	鈴木・野崎	文法事項としては、仮定法過去と仮定法過去完了のifの使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。
14	Chapter 14 Universities: Past and Present	鈴木・野崎	文法事項としては、挿入句の使い方、また、それらをふまえた英語表現を学び、適切に英語で表現できる。

	st, Present and Future	崎	に英語で表現できる。
15	総括・まとめ		

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 Read Well, Write Better	Joan McConnell, 武田修一, 山内圭	SEIBIDO (成美堂)

【成績評価方法・基準】

定期試験の成績を主とし（70％）、予習・復習の程度（プリントの整理・ノートづくり等）、講義中の課題への質疑応答など授業への積極度、課題提出など（30％）を加味して評価する。

【評価のフィードバック】

講評は、合格発表日後までもなく掲示にて公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

鈴木・野崎とも基本的には金曜日の午後3時30分～5時30分をオフィスアワーとするが、所用が入ることもあるので、必ず事前にアポイントメントをとってほしい。詳しくは、初回の授業の際に説明する。